

山中 竹春 横浜市長がタイ・バンコクを訪問します

バンコク都、国連機関、タイ政府と共にアジア諸都市の脱炭素化連携を更に促進します

山中 竹春 横浜市長がバンコク都知事からの招聘を受けて、タイの首都バンコクを訪問し、同知事とのトップ会談を行うとともに、両都市主催による脱炭素ワークショップにおいて基調講演を行います。加えて、都主催の展示会(BKK EXPO)への出席や、国際連合アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)およびタイ工業省とのトップ会談等を行います。

本出張を通し、気候変動に対する都市の役割や知見について共有・発信するほか、横浜企業の脱炭素ビジネスを促進することにより、アジアの都市における脱炭素化に貢献します。

■横浜・バンコク脱炭素ワークショップの開催による都市間連携の推進

両都市等の主催による脱炭素ワークショップで市長が基調講演を行うほか、バンコク都の気候変動対策(エネルギー分野等)発表に関するセッションや、横浜企業等によるビジネスピッチ(脱炭素化に向けた技術や課題解決策の提案)の実施を通じ、脱炭素化にかかる両都市間連携を促進します。

また、環境分野をはじめとするバンコク都の重点施策について広く発信する大型展示会(BKK EXPO)に出席してスピーチを行うほか、横浜市の出展ブースで「GREEN×EXPO 2027」の発信を行います。

■国際連合(国連)アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)とのトップ会談

国連 ESCAP を訪問し、トップ会談を行います。アジアの都市の脱炭素化や SDGs推進における連携強化、「GREEN×EXPO 2027」に向けた協力について協議します。

■タイ政府幹部との会談

タイ政府(工業省及び東部経済回廊(EEC))幹部との会談を行います。「横浜市アジア事務所」を通じた連携強化、特に横浜企業によるタイでの脱炭素・環境インフラビジネス等の推進や、人材の交流、また、脱炭素化に資する都市開発について協議します。

1 期間及び主な日程(予定)

令和6年6月20日(木)～6月22日(土) (1泊3日)

日程	内容
6月20日(木)	・日本発(午前)、バンコク着 ・バンコク都知事との両都市間連携等にかかるトップ会談
6月21日(金)	・横浜・バンコク脱炭素ワークショップの共催ならびに基調講演 ・バンコクエキスポ(BKK EXPO)への出席 ・在タイ日本国特命全権大使との面会 ・JICA タイ事務所長との面会 ・ESCAP 事務局長との会談 ・タイ工業省産業振興局長との会談 ・東部経済回廊(EEC)事務局長との会談 ・バンコク発(深夜)
6月22日(土)	・日本着(朝)

2 概要及び訪問背景

(1) バンコク都との都市間連携の強化

横浜市は、バンコク都(※)と都市間協力の覚書を2013年に締結以来、バンコク都の気候変動対策に関する計画策定支援や、横浜企業の環境技術の紹介・導入などの支援に継続的に取り組んできました。これまで築かれてきた信頼関係の下、横浜市長及びバンコク都知事は、脱炭素に向けてアジア諸都市の連携をさらに推進するため、2023年11月に横浜で開催された「第12回アジア・スマートシティ会議」においてアジアの脱炭素化に向けた共同宣言を発出し、44ものアジア都市・政府機関から賛同を得ました。横浜市長及びバンコク都知事は、ともに「包摂的成長のための OECD チャンピオン・メイヤー」(※)に選任され、気候変動対策をはじめ包摂的成長の実現に向けて、国際的な協力・発信にも取り組んでいます。

このたび、両都市でアジアの都市の脱炭素化をリードしていくため、ビジネスセクターを交えたワークショップを開催します。

名称：「横浜・バンコク 脱炭素都市間連携ワークショップ」

日時：2024年6月21日(金) 9時～17時(現地時間)

場所：バンコク Grande Centre Point Terminal 21 内

主催：横浜市、バンコク都、日本国環境省、一般社団法人海外環境協力センター(OECC)

内容：

- ・ 基調講演(横浜市長、バンコク都知事、環境省、在タイ日本国大使館)
- ・ バンコク都の気候変動対策：横浜市支援による「バンコク都気候変動マスタープラン 2021-2030」の実施状況、新たに策定された「バンコク都エネルギー・アクションプラン」の発表
- ・ タイにおける脱炭素市場機会の紹介
- ・ 日タイの企業によるビジネスピッチ(低炭素・脱炭素ソリューションに関する知見共有)
- ・ ビジネスマッチングの開催

<取材について>

本ワークショップについて、現地での取材を希望される場合は、2024年6月19日(水)正午(日本時間)までに、「お問合せ先」の国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長中村までご連絡ください。

※バンコク都

タイ王国の首都、面積約1,569km²(横浜市437km²)、人口1100万人。現在の都知事はチャッチャート・シッティパン(2022年～)。都市ネットワーク GCoM、C40、CITYNET に参加する。

※包摂的成長のための OECD チャンピオンメイヤーズ：

包摂的な成長の推進に取り組む世界の首長連合。横浜市長、バンコク都知事のほか、パリ市長、ローマ市長など、現在63首長で構成。国際会議やウェブサイトでの発信などを通じ、包摂的成長に向けた協議・事例共有、政策提言等を行っている。

(2) 国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)との連携強化

国連 ESCAP(United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific)は、国連の経済社会理事会が設置する 5 つの地域委員会の一つで、アジア太平洋地域の経済発展や社会開発に関する調査研究や勧告等を主な任務とする、タイの首都バンコクに本部を置く組織です。

このたび、ESCAP 代表のアリシャバナ事務局長と山中市長がトップ会談を行い、アジア都市への脱炭素化の拡大に向けた連携強化や、「GREEN×EXPO 2027」に向けた協力関係について協議します。

(3) タイ政府との連携強化

横浜市は、2022 年8月にタイ政府工業省産業振興局内に「横浜市アジア事務所」を開設し、ASEAN・インド地域における横浜市の拠点として、横浜の中小企業のビジネス支援や、公民連携による技術協力等に取り組んできました。

このたび、山中市長が同省産業振興局長と面会し、「横浜市アジア事務所」を通じた連携強化、特に横浜企業によるタイでの脱炭素・環境インフラビジネス等の推進や、人材の交流について協議します。

併せて、タイ政府の重要戦略地域である東部経済回廊(※)プロジェクトの事務局長とトップ会談を行い、脱炭素化に資する施策について協議します。

※東部経済回廊(EEC:Eastern Economic Corridor)

タイ政府が進める産業高度化政策「タイランド 4.0」を実現するために指定された東部3県(チャチュンサオ県・チョンブリ県・ラヨン県)にまたがる経済特区。

お問合せ先

(市長のタイ王国での行程全般及び公民連携による国際技術協力に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長

中村 恭揚 Tel 045-671-4396

(ESCAP との連携に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長

横内 宣明 Tel 045-671-4712

(横浜市アジア事務所に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課アジア大洋州担当課長

千葉 愁子 Tel 045-671-4711

(脱炭素分野の取組発信に関すること)

脱炭素・GREEN×EXPO推進局戦略企画課グローバル担当課長

安養寺 智 Tel 045-671-4933